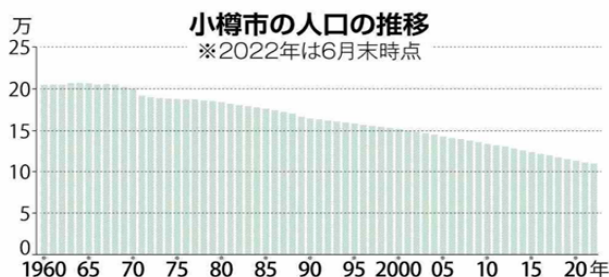




年 組 名前

## 年2千人減 危機続く

JR小樽駅から南に約1  
き、古くからの住宅街にあ  
る市立菁園中。夏休みの夕  
方、体育館でバスケットボ  
ールの練習をするのは菁園  
中の部活動ではない。生徒  
数減少でバスケットのない中  
学の生徒ら7人が参加す



る、クラブチームの部員た  
ちだ。市内12中学のうち、  
男女ともバスケットがあるの  
は7校のみ。コーチの会社  
員長沢元子さんは「小樽ほ  
どのまちでも、地域によっ  
ては団体競技の部活動が難  
しくなっている」と話す。  
小樽市は少子高齢化が急  
速に進み、人口減少にも歯  
止めがかからない状況だ。  
人口は1964年の約20万  
7千人がピークで、今年3  
月末時点で10万9712人  
と102年ぶりに11万人を  
割り込んだ。

の高齢化率（65歳以上の割  
合）は、今年6月末時点で  
41.47%で、道内主要12市の  
中で最も高い。国立社会保  
障・人口問題研究所の推計  
では、人口は2045年に  
6万4244人となり、道内  
9位から10位に転落する。  
人口減少の影響は中学校  
の部活だけでなく、路線バ  
ス減便や商業施設の閉店な  
ど顕在化し始めている。こ  
のペースで人口が減れば、  
近い将来、市民生活はさら  
に大きな打撃を受ける可能  
性もある。

小樽市はここ数年、年2  
千人のペースで人口が減っ  
ている。  
地域差も大きく、この20  
年の人口減少率は札幌寄りの  
「東南部」は18%だった  
が、余市寄りの「北西部」は  
2倍の36%だった。市全体  
の

市の財政にとっては税収  
や地方交付税も減る一方、  
高齢化で社会保障費は増加  
し、行政サービスの維持が  
困難になることが予想され  
る。働き手と買い物客が減  
れば、地域経済も活力を失  
う。

2022年8月5日（金）朝刊 小樽・後志版 17ページ（記事は再編集しています）

①——線「顕在化し始めている」とありますが、ここではどのような意味ですか。適切なもの一つ  
選び、記号で答えなさい。

- ア 路線バス減便の影響が、はっきりと形に現れてわかるようになること。
- イ 人口減少のペースが、はっきりと形に現れてわかるようになること。
- ウ 人口減少の影響が、はっきりと形に現れてわかるようになること。
- エ 中学校の部活の減少が、はっきりと形に現れてわかるようになること。

②記事の中に示されている推計を基に、2045年の人口をグラフに書き入れなさい。

